



長崎開港450周年
SINCE 1571

市民セミナリヨ 2021 No. 8

開港から70年後の貿易都市長崎

今年は長崎開港 450 周年。それにちなみ、長崎に最初に作られた「六ヶ町」の一つ平戸町に残されている記録(寛永19年平戸町人別生所^{にんべつしょうしょ}だし)を元に、開港70年後の長崎の様子を紐解きます。それにより当時の庶民の姿や、キリシタン禁教と鎖国の真の姿が見えてきます。

また当時、平戸町に住んでいた御朱印船船頭を通して海外へ進出した御朱印船の活躍も併せてご紹介します。

◆日時 : 2021 年 **12月4日(土)** **13:30~15:00**

◆会場 : 浦上キリシタン資料館コミュニティースペース
長崎市平和町 1 1-1 9 TEL:095-807-5646

◆講演 : **村崎 春樹** (長崎近世文書研究会事務局長)



昭和 21 年(1946)長崎市生まれ。昭和 40 年(1965)三菱技術学校卒業後、三菱長崎造船所で品質管理、物流管理、購買業務などに従事。定年退職後、上戸町にあった長崎一族の墓に興味を抱いたのをきっかけに長崎の歴史研究を始める。長崎のさるくガイド、長崎史談会副会長、長崎学ネットワーク会議理事、長崎近世文書研究会事務局長などを歴任した。長崎文化協会「長崎文化」に「長崎港の歴史」を、すこやか長寿財団「そよかぜ」に「長崎県の歴史」を寄稿。各地で長崎学講座を開催、各テレビ局の特集などに出演し、その活動の幅を広げている。

◆参加費 : 500 円 ◆定員 : 30 名

◆お申し込み : 浦上キリシタン資料館 TEL&FAX:095-807-5646
E-mail:urakamicm@mxa.cncm.ne.jp

※お名前とご連絡先を TEL・FAX・MAIL のどれかでご連絡ください。

◆企画・問い合わせ : **NPO 法人**  **アジェンダNOVAながさき**

～長崎の文化を考える会～ <http://feature.jp/agenda>

代表 林田慎一郎 090-7923-7435 linden@ae.wakwak.com